

もくじ

1. オズのまほうつかい 2
2. さいごのひとは46
3. しあわせのおうじ68
4. ながぐつをはいた ねこ94
5. くるみわりにんぎょう.....122

オズのまほうつかい

げんさく： ライマン・フランク・ボーム

イラスト： ナナホシ

へんしゅう： イエローバードプロジェクト

とつぜん、トトが はしりだしました。

「ワンワン、ワーン！」

「あ、こら トト、まちなさーい！」

トトは、みちのわきに たっていた、
『かかし』に とびつきました。

「もう、だめじゃないの トト、

かってに はしっていったら」

「ねえ ねえ、きみ、きみ！」

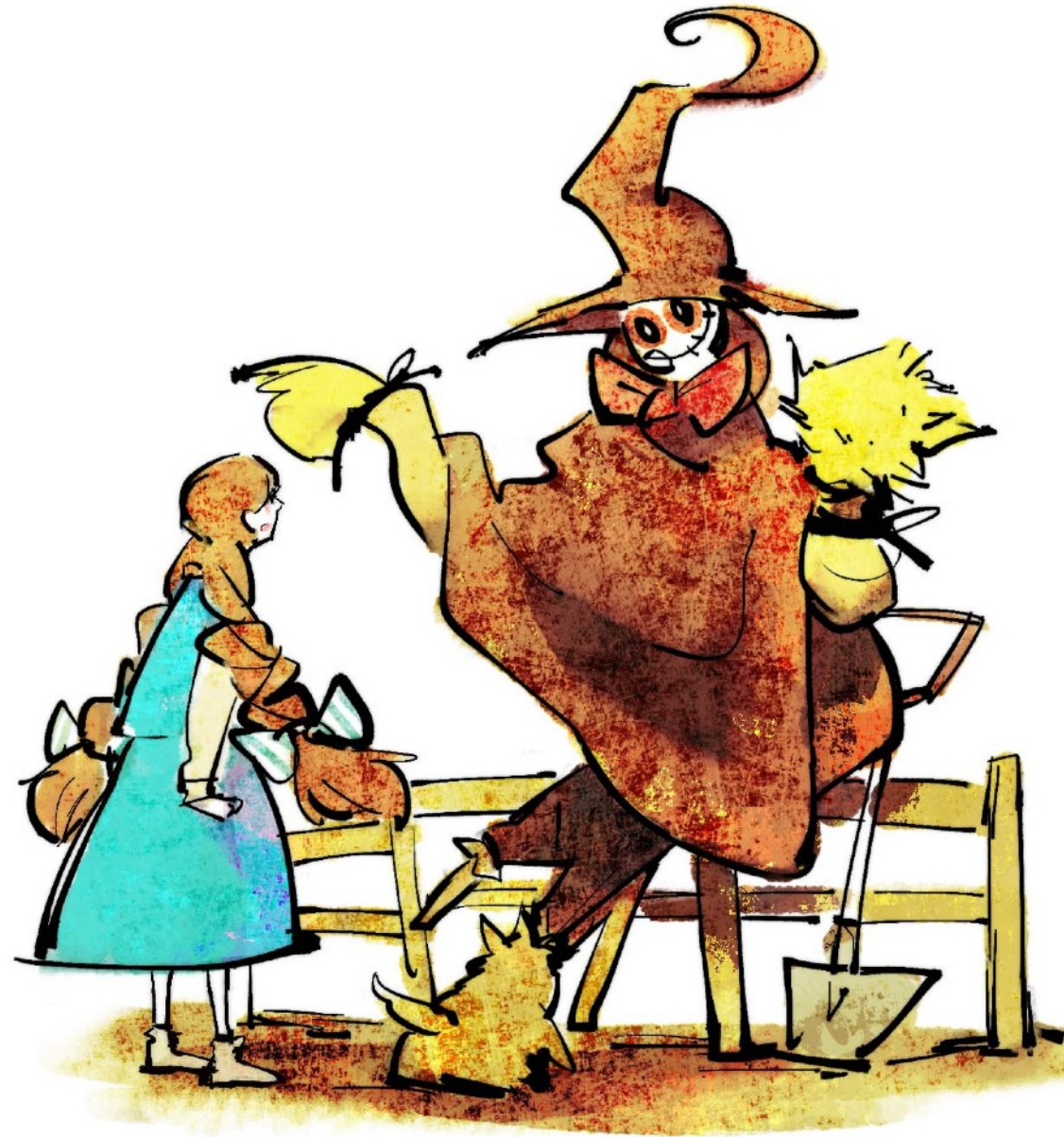
「え？ いま しゃべったのは だれ？」

「ぼくだよ。ほら、きみの めのまえに
いるじゃないか」

「めのまえって・・・まあ、かかしさん、
あなた しゃべれるの!？」

「かかしが しゃべっちゃ いけないって
いうのかい？ それより、ぼくの せなかに
ささっている ぼうを めいておくれよ。
ぼくは、じゅうに なりたいんだ。
いちにちじゅう トウモロコシばたけを
みはりつづけ、カラスに つつかれ、
いぬに ほえられ・・・もう こんな
じんせいは まっぴらさ」

ドロシーは、かかしの せなかから
ぼうを ひきぬきました。



つぎのひ、つばめは おうじに、
このまちを とびまわって みた
さまざまな ひとびとの ようすを、
ありのまま つたえました。

このまちには、おかねがあって ゆたかなくらしを
しているひとが たくさん いましたが、
びんぼうで おなかをすかせている ひとも また、
たくさん いました。

「つばめくん。ぼくの さいごの ねがいを
きいてくれないかい。きみが このまちで
ふこうだとおもう ひとに、
ぼくの からだの きんぱくをはがして、
もっていってくれないかい」

おうじは、あなのあいた めから
なみだをながして いいました。
つばめは おうじの きもちが
よくわかっていたので、なにも いわずに、
おうじの からだから きんぱくをはがし、
それを ひとびとのもとへ もっていきました。



この ふしぎな ねこに
きょうみをもった カバラは、
ねこに じぶんの ながぐつをあたえ、
にもつの はいっていた ふくろを からにして
わたしました。

「ありがとうございます！
では、すうじつのあいだ おまちください」

ねこは くちぶえをふきながら、
ようようと あるいていきました。

ねこは まず もりにはいり、
のうさぎを いっぴき つかまえて、
ふくろのなかに いれました。
そして そのふくろをもって、
このくにを おさめる
おうさまの おしろへ むかいました。

